

レバレッジド・アンド・インバースETFs

Direxion デイリー 20年超米国債 ブル3倍 ETF & Direxion デイリー 20年超米国債 ベア3倍 ETF

投資目的

Direxion デイリー 20年超米国債 ブル3倍 ETF & Direxion デイリー 20年超米国債 ベア3倍 ETF は、手数料および費用の控除前の段階で、ファンドの日次基準価額の値動きがICE20年超米国債インデックスの3倍のパフォーマンス、または3倍のパフォーマンスの反対となる投資成果を目指します。

ファンドがその投資目的を達成することを保証するものではありません。

これらのレバレッジETFはベンチマークとなる株価指数に対して、単日ベースでプラス300%またはマイナス300%の投資成果を実現することを目指して運用されます。いずれのファンドもベンチマークとなる株価指数に対して、複数日ベースでプラス300%またはマイナス300%の投資成果を実現することを目指して運用されているわけではありません。

対象とする指数

ICE20年超米国債インデックスは、残存期間が20年以上の米国債で構成された時価総額加重方式の債券インデックスです。対象債券は、固定金利、米ドル建て、FRB保有分を除く発行残高の額面価格が3億ドル以上としています。ゼロクーポンストリップス債、インフレ連動債、変動利付債、短期債、政府機関債（政府保証の有無にかかわらず）はインデックスの対象から除外されます。当該指数に直接投資することはできません。

各ファンドに投資する場合の投資収益は、分散投資を行うファンドに投資する場合と比べて、価格変動性が大きくなる場合があります。ファンドがレバレッジ運用を行う場合にはその分だけリスクが増大します。当ファンドは必ずしも全ての投資家に適しているわけではありません。レバレッジ・リスクや、レバレッジを効かせた運用を日々継続する場合の影響を十分に理解し、自分が行っている投資の状況を積極的にモニターし管理する意思を持つ投資経験豊かな投資家の方に限って、投資いただく必要があります。

TMF	Direxion デイリー 20年超米国債 ブル3倍 ETF (TMF)
TMV	Direxion デイリー 20年超米国債 ベア3倍 ETF (TMV)

ファンド情報

	TMF	TMV
ティッカーコード	TMF	TMV
日中気配値	TMF.IV	TMV.IV
ブルームバーグのコード	IDCOT20TR	IDCOT20TR
CUSIP番号	25459W540	25460G849
目標倍率	300%	-300%
総経費率	1.06%	1.01%
純経費率*	1.06%	1.01%
設定日	4/16/2009	4/16/2009

* 純経費率には、運用報酬、その他の運営費用、および取得したファンドに係る手数料や費用が含まれます。取得したファンドに係る手数料や費用を除外した場合の純経費率は、TMFが0.93%、TMVが0.89%となります。当ファンドのアドバイザーであるRafferty Asset Management, LLC（「Rafferty」）と各ファンドは、運営費用の上限に関する合意書を締結しています。運営費用の上限に関する合意書に基づき、Raffertyは、2022年9月1日までの期間の当ファンドの合計年間運営費用が当ファンドの平均日次純資産の0.95%を超えた部分について（該当する場合、特に以下の費用を除く：税金、スワップ・ファイナンスと関連費用、取得したファンドに係る手数料や費用、ショートポジションに係る配当や利息、その他利息費用、ブローカー手数料、および特別費用）、運用報酬の全体もしくは一部を放棄し、および/またはその他費用を各ファンドに返金することに契約上合意しています。これらの費用を含めた場合、経費率は上昇します。

インデックスの特性

デュレーション	19.79
加重平均残存年数	26.05
加重平均クーポン	2.51
ボラティリティ（30日ベース） ⁶	17.42

デュレーションとは、債券投資における金利の変動に対する価格（元本価値）の感応度を測る尺度です。デュレーションは年数で表示されます。

インデックスを構成する全ての債券の残存年数を加重平均したものです。残存年数の加重平均が高いほど、インデックスを構成する債券の残存年数が長いこととなります。

インデックスの加重平均クーポンはインデックス構成銘柄のクーポンにそれぞれのウェイトを乗じて、計算されています。

ボラティリティは、過去30日間の日次ベースの価格変動を標準偏差を用いて算出したリスクの尺度です。

データは2021年12月31日現在のもので、変わる可能性があります。

インデックスの信用格付内訳（%）

Aaa	100
-----	-----

投資格付とは、格付機関であるMoody'sが、債券の発行体の債務の返済能力について特に行った詳細な財務分析に基づいて公表している評価による格付です。最上位の格付はAaaで、最下位はDになります。

インデックスの信用格付内訳（%）

27-30	44.66
24-27	29.29
20-24	26.04

パフォーマンス(2021年12月31日現在)

		1カ月、%	3カ月、%	年初来、%	1年、%	3年、%	5年、%	10年、%	設定来、%	設定日
TMF	1口当たり純資産額	-6.22	7.77	-19.47	-19.47	15.05	10.53	5.34	7.15	04/16/09
	市場価格（終値）	-6.88	7.08	-19.80	-19.80	14.52	10.39	5.26	7.03	
TMV	1口当たり純資産額	4.71	-13.00	0.69	0.69	-33.08	-25.35	-22.16	-26.25	04/16/09
	市場価格（終値）	5.20	-12.58	0.83	0.83	-32.73	-25.29	-22.12	-26.19	
IDCOT20TR		-1.78	3.78	-4.34	-4.34	9.13	6.78	4.62	5.82	

記載されたパフォーマンスは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
投資リターンおよび投資元本は変動するため、投資家の受益証券の解約時の価値は取得原価を上回る場合も下回る場合もあります。現在のパフォーマンスは、記載された実績を下回る場合も上回る場合もあります。1年未満の期間のパフォーマンスは累積リターンであり、年率換算したものではありません。直近の月末現在までのパフォーマンスは、Direxionのウェブサイト(www.direxion.com)からご覧いただけます。

特に、短期のパフォーマンスはファンドの将来の運用成果を示唆するものとして適切ではありません。また投資はリターンのみに基づいて行うべきものでもありません。市場は絶えず変動しているため、ファンドのパフォーマンスは短期的な大きな価格変動の影響を受けることがあります。より詳しい情報については、当ファンドの目論見書にてご確認ください。指数のパフォーマンスには手数料や費用は含まれておらず、運用されているものではなく、直接投資することもできません。

重要な開示事項

Direxion Asia Limited(「DAL」)及びRafferty Asset Management, LLC(「RAM」)は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号、その後改正を含む。)に基づく金融商品取引業者の登録を受けておりません。

本資料は、金融商品取引法施行令(昭和49年政令第321号、その後の改正を含む。)第1条の7の3第11号(有価証券の売出しに該当しない有価証券の取引)の規定に基づき、金融商品取引業者等が顧客のために行う、取引所金融商品市場又は外国金融商品市場における有価証券の売買の取次ぎを行うことに伴う有価証券の売買に関し、当該金融商品取引業者等のために作成された資料です。当該金融商品取引業者等が、本資料を交付し又は頒布する場合、当該金融商品取引業者等自身の責任において関係法令等を遵守するものとします。

過去の実績は、将来のリターン又は結果の保証ではなく、それを示唆するものでもありません。Direxionは、募集要項等(募集要項等中の記載、誤記又は記載漏れの明示的又は黙示的な表明又は保証を含みます。)に関する責任を負いません。意見及び情報は、通知なく変更されることがあります。開示されていない一定の事項が募集要項等の作成において前提とされ、かかる前提事項の変更が募集要項等において記載される情報に重大な影響を及ぼす可能性があります。Direxionは、募集要項等において言及されている財務情報の情報源により表明された予測に関する意見若しくは見解、コンセンサス予想又は募集要項等内で言及されているその他の情報を表明するものではありません。

本資料において言及されているウェブサイトのリンク(「本件ウェブサイト」)に記載されている情報は、Direxionが信頼できると合理的に判断する情報源に基づき又はこれに由来しています。Direxionは、本件ウェブサイト上で提供された情報について独自に調査又は検証を行っておらず、かかる情報の正確性若しくは完全性又はかかる情報が特定の目的に適合しているかどうかにつき表明しておりません。Direxionは、本件ウェブサイトに関する一切の責任(本件ウェブサイト上の記載若しくは誤記又は記載漏れについての明示的又は黙示的な表明又は保証を含みます。)を負いません。Direxionは、本件ウェブサイト上で言及されている財務情報の情報源により表明される予測に関する意見又は見解を表明するものではありません。

投資家の皆様は、投資される前にDirexion Sharesの投資目的、リスク、手数料、経費などを考慮してください。目論見書および要約目論見書には、Direxion Sharesに係るこれらおよびその他の情報が記載されています。目論見書および要約目論見書は、+1-866-476-7523へお電話されるか、Direxionのウェブサイト(www.direxioninvestments.com)からお問い合わせ下さい。投資家の皆様は、投資される前に目論見書と要約目論見書を慎重にお読みください。

CUSIP番号は、Standard and Poor's Financial Services, LLCが米国銀行協会(ABA)の代理で運営するCUSIP Global Servicesによって割り当てられたものであり、いかなる方法であってもCUSIPサービスの代わりとして使用または配布することはできません。CUSIP Databaseは2011年に米国銀行協会が著作権を取得し、「CUSIP」は米国銀行協会の登録商標です。

Direxion Sharesの投資証券は純資産価額(NAV)ではなく、市場価格で売買されます。また、ファンドの証券が個別に償還されることはありません。ブローカー手数料はリターンに反映されていません。市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は東部標準時午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算されます。こうして計算されるリターンは、別の時刻に投資証券を実際に売買した場合の投資成果と異なることになります。ファンドのパフォーマンスは配当等収益および売買等損益をNAVで再投資する前提で計算します。過去の運用成績の中には、計算期間に行われた諸費用の減免の影響を受けるものがあります。計算期間に係る減免が行われなかった場合の運用成績は、当然その分だけ劣後することになります。

本書に記載の当ファンドは、MSCIインデックスに連動しています。本書で言及されている当ファンドまたは証券は、MSCIによって支持、承認または奨励されていません。また、MSCIは、当該ファンドもしくは証券、またはファンドもしくは証券の基礎となっている指数について、一切責任を負いません。目論見書には、MSCIとRaffertyおよび関連ファンドとの限定的な関係について、より詳細な説明が記載されています。

各ファンドに投資する場合の投資収益は、分散投資を行うファンドに投資する場合と比べて、価格変動性が大きくなることがあります。ファンドがレバレッジ運用を行う場合にはその分だけリスクが増大します。当ファンドは必ずしも全ての投資家に適しているわけではありません。レバレッジ・リスクや、レバレッジを効かせた運用を日々継続する場合の影響を十分に理解し、自分が行っている投資の状況を積極的にモニターし管理する意思を持つ投資経験豊かな投資家の方に限って、投資いただく必要があります。当ファンドは、単日を超える期間において、ベンチマークとなる指数に連動することを目指して運用しているわけではありません。

Direxion Sharesのリスク - 各ファンドへの投資にはリスクが伴います。これには、元本が毀損する可能性があります。各ファンドは分散投資されていません。また、各ファンドは、ファンドの投資が特定の産業、セクターまたは地域に集中しており、ボラティリティの増大につながる可能性があることに関連したリスクを含みます。先物契約およびスワップなどのデリバティブの使用は、これらの価格を時とともに変動させる可能性がある市場リスクの影響を受けます。各ファンドは、単日以外の期間において、連動する指数の3倍の投資成果に当たるリターンを提供することを意図しておらず、またこれを期待するものではありません。各ファンドへの投資に伴うリスクには、複利効果および市場ボラティリティ・リスク、レバレッジ・リスク、市場リスク、積極的投資テクニック・リスク、流動性リスク、カウンターパーティ・リスク、日中投資リスク、不動産セクターの証券への投資に固有のリスクが含まれます。不動産証券は、不動産の直接所有に関連したリスクと同様のリスクに影響を受けます。これには、現地および全般的な経済状況の変化、空室率、金利、都市計画法、賃料収入、財産税、営業経費、および災害または収用による損失が含まれます。追加的なリスクとしては、Direxion デイリー MSCI リート プル3倍 ETFについては日次ベースの指数相関/トラッキング・リスクおよびその他投資会社(ETFを含む)リスク、Direxion デイリー MSCI リート ベア3倍 ETFについては日次ベースの逆指数相関/トラッキング・リスク、ならびに空売りおよびキャッシュ取引に関連したリスクが含まれます。これらのリスクおよび各ファンドのその他リスクのより詳細な説明については、要約目論見書と目論見書をお読みください。